

「小石川について知りたいこと」Q&A [4]

国際理解教育

Q 東京グローバル10とは何ですか。

A 東京都教育委員会の事業です。外国語授業の改善に向けた先進的取組や、学校独自の特色ある取組を実施するなど、意欲ある生徒の外国語力の向上を推進するとともに、積極的に国際交流を行い、国際理解教育を一層推進することを目的に、都立高等学校及び都立中等教育学校の中から10校を選定し、東京グローバル10を指定しています。

本校は、外国語によるコミュニケーション能力、異文化への理解や適応力、国際貢献への意欲など、将来、国際社会の様々な分野・組織で活躍できるグローバルリーダーの育成に資する取組を行っています。

Q 留学できる人数、学年、国・学校を教えてください。

A 留学できる人数は特に決まっていますが、例年、学年で2名から8名程度が1年間留学しています。近年、英語を公用語としている国以外にも留学しています。留学は後期生（高校生）のみで、4年生から5年生にかけて留学する生徒が大半です。

Q 海外留学では、具体的に何をしていますか。

A 留学先国でホームステイをしながら現地校に通学して、その国の言語や文化を学びます。1か月に1回程度、留学だよりを作成し、本校に学習状況等を報告します。

Q 留学の選考基準、費用を教えてください。

A 選考基準は、学校の成績、出席状況、留学に対する意欲や動機を重視しています。費用は、留学の形態によりますが、東京都の「次世代リーダー育成道場」の留学プログラムを利用すると80万円程度（事前研修費＋留学費等）で留学できます。また、所得に応じて減免制度があります。

Q 英語をどのくらい話せるようになれば、留学出来ますか。

A 留学前にどれくらい英語ができるかどうかは、留学ができるかどうかの条件ではありませんが、後期中等教育の学校で学べる程度の語学力は必要です。なぜ留学したいのかや、留学後に小石川での学校生活においてどんなことを他の生徒や学校へ還元できるのか等、留学に対する意欲や動機が重要になります。

Q 在学中に1年程度留学できますか。その場合は留学中の単位は認定されますか。留年せずに進級できますか。

A 在学中に1年間の留学をすることができます。留学中の単位が認定されれば、もとの学年に復学することができます。復学した生徒は、体験した海外と日本との文化や考え方の違いを留学体験報告会等で発表したり、海外の学校と交流するときには小石川の代表として集会のスピーチを引き受けるなど、積極的に交流に参加することや、留学中に得た知識や語学力を自分だけのものとせず、多くの人の役に立つように学校生活を送るよう指導しています。

Q 留学について、留学先・期間・留学できる学年を教えてください。

A 留学先は、米国・英国・オーストラリア・カナダなどの英語圏の他に、近年はスウェーデン、ポルトガル、ロシア、ポリビア等にも留学しています。期間は1年間が大半です。留学できるのは4年生以上です。

Q コロナで海外への留学など、今後どのような対応をしていますか。

A 留学の受入れについては、日本と留学先国との国家間レベルの問題です。留学するかどうかは、最終的には、ご家庭の判断になります。

Q 第2外国語は何年生からで、どの外国語が学べますか。また、交換プログラムはありますか。

A 4年生と5年生が第2外国語を履修できます。言語は、中国語、フランス語、ドイツ語です。それぞれ初級クラスと中級クラスがあります。交換プログラムはありません。

Q 海外の大学に進学する生徒さんはいますか。

A 海外大学に進学する生徒はいます。具体的な大学名は本校ホームページの「国際理解教育」で紹介しています。

Q 海外大学に進学したいのですが、学校としてどのようなサポートをしてくれますか。

A 海外大学進学のための奨学金給付を受けられる団体を紹介します。また、書類選考で必要になる英文エッセイの添削指導もしています。

Q 英語を話す機会はたくさんありますか。

学校説明会での映像には流暢に英語を話す先輩方がたくさんいらっしゃいましたが、みんな話せるようになるのでしょうか？

A 英語の授業や海外の学校との交流で英語を使う機会は多いです。英語を流暢に話す生徒は個人レベルで努力しています。

Q 海外の学校の生徒が小石川を訪れたときには、どのような活動をしますか。

A 海外の学校の生徒と小石川生がパディを組んで、平常授業を一緒に受けたり、放課後、茶道や華道などの日本文化を体験してもらったり、部活動に参加してもらったりします。主に3年生から5年生が交流します。詳しくは本校ホームページの「国際理解教育」で紹介しています。

英語教育

Q 中1からレベル別の英語のクラスはありますか。すでに英会話ができる場合は、ネイティブの先生との授業がスタンダードとしてありますか。

A 中1から習熟度別の授業を行っています。英会話ができるかどうかに関わらず、週1回、ALTの先生の授業があります。

Q 英語の授業はどのくらいありますか。

A 前期課程（中学生）は、週5時間です。

Q 英語を小学校以外で習っていないので不安ですが、大丈夫ですか。

A 英語の初歩から学習しますので、心配する必要はありません。

Q 英語は中学校修了時にはどれくらいのレベルにありますか？

A 3年次、夏のオーストラリアでの海外語学研修でホームステイ先での会話や現地の学校の授業についていけるくらいの英語力は身につきます。

Q 英語での高度な授業などに全生徒がついていけるのでしょうか。

A 習熟度別クラス編成をしていますので、生徒の習熟の程度に応じて授業を行っています。

Q 現在英検の級を取得していますが、説得力のあるきれいなwritingができるようにしたいです。

A 小石川には英語のネイティブスピーカーの先生が5名います。その先生方に、自分で書いたライティングを添削してもらおうと良いと思います。